

WWOOFホストに必要な条件は、有機農産物を生産、製造、加工、販売などしており、オーガニックな事項を何かしら持っていることです。

1、ウーファーはすべてWWOOFリストを所持しています。それが会員の証です。ウーファーの到着時には、そのリストのほかウーファーのIDを掲示してもらいます。必ず本人であるか確認してください。リストとIDの名前が異なることが判明したときには、ウーファーの滞在を拒否してください。または、下記3番のようにその場でWWOOFに登録させることも可能です。ウーファーが受ける保険については、登録ウーファーが登録済みホストで滞在しているときのものです。海外からのウーファーについては、ビザの種類も確認してください（13番関連）。

2、自宅にまったくの他人を受け入れるという危険性を考えて下さい。ホストには「ウーファーゲスト帳」を備え、ウーファーに署名、番号を記載してもらうことを勧めます。

3、ウーファーがWWOOFリストを所持していないときがあれば、理由を聞いて下さい。WWOOFオーストラリア事務局に連絡の上、WWOOF登録の手続きをしてください。WWOOFリストをホストに送付しますので、ホストには登録費用を送付してもらいます。

4、ウーファーが一番大事に思うことは、ホストの農法や問題点についての話を聞くことです。できるだけ辛抱づよく対応してあげてください。道具、機械の使用法をよく説明し、破損や怪我がないようにしてください。ウーファーに農薬、化学肥料を使わせてはいけません。有機方式の作業を手伝ってもらって下さい。

5、単調なことでも、できるだけ多様性のある仕事を与えて下さい。基本的なことでも、ウーファーにとってはまったく初めての経験ということがあります。ホストの仕事の流れに沿って、ウーファーに色々手伝ってもらって下さい。ひとりぽっちにさせないように。一人での雑草抜きは単調でうんざりするものです。

6、ウーファーは自分の時間に何をするかを予定をたてるため、ホストは作業スケジュールを明確にするのがよいでしょう。リストには、食事と滞在する場をもらうために、1日に4～6時間の仕事をすると記載してあります。ただし、これは、季節、仕事の量、ホストの作業指示、ウーファーの作業能力、滞在場所により差はあります。誤解がないように、最初にウーファーから連絡が入ったときに、労働条件、休日のことなど明らかにしておくのがよいでしょう。

7、ホストの多くは、家の中の空いた部屋をウーファーに提供しています。ウーファーは家族とともに食事をとり、家事の分担をします。空室がないときには、キャラバン、小屋、テントなどのようなところに滞在してもらってかまいません。ただし、常に清潔に保ってください。もし、全食ホストで提供できないとき、またウーファー自身が用意しなくてはならないときは、事前にウーファーに了解してもらう必要があります。申込があるときに、ウーファーに食事に傾向があるか聞くのはいい方法です。後でトラブルにならないように、最初に、野菜だけで肉食はしないなど、提供できるものとできないものをはっきりさせるとよいでしょう。

8、滞在場所は清潔に。キッチンももちろん清潔に。特に暖かい地方から来るウーファーには、毛布など十分に提供してください。

9、ホストは、ウーファーを家族の一員として扱うこと。病気や怪我があったときには適切な処置のサポートをしてあげること。

10、ウーファーはほとんどが、公共交通機関を利用します。お互いに合う時間を調整し、ホストは最寄りの駅、バス停まで迎えに行くようにします。

11、悪口、相応しくない振る舞い、セクシャルハラスメントはだめです。ウーファーからこのようなクレームが来たときには、ホスト登録は取り消されます。

12、WWOOFオーストラリア事務局は、ホストをリストに記載することを拒否、リスト抹消する権利があります。また、リスト内容の編集権もあります。リスト内容が明確で、正確な情報であれば問題はありません。コミュニケーションをよくすることがキーです。

13、WWOOFはボランティア精神のものです。観光ビザの制限を念頭に置いて下さい。ウーファーに給料をあげることは、オーストラリア国民と居住者の仕事をおびやかすことになってしまうことなので、できません。